

とらすととれいん

No.87 1997

AUGUST

7月25日でトラストレイン運行開始から10年

10周年記念ヘッドマークで運行

今年いっぱいはこのマークで



今回の運転は、10周年にふさわしくオリジナルの編成(SL + 客車3両)で運転されました。

7月19日の運行状況

ボランティア参加者	12名
乗客数 下り	129名
上り	34名

新金谷の機関区でヘッドマークの取り付け

名物? 追跡シリーズ

7月19日の運転日の1日を追う (20日もあるよ)

(注: 最近文章を書くのが面倒なので、写真が多くなっております。まっく田中)



トラストレインの列車に先立って
東名高速を走ったナベ・レガシィ 世号
(足柄サービスエリアにて)

去る、7月19・20日、大井川に
於いて何やら集まりが有ると
いうので、会報特別取材班も
同行する事に.....。

後ろ姿もキマってるぜ!



ヘッドマークの枠への取り付け方法では、出発前からモメ
にモメていたが、現地に着いてからも意見がまとまらず、結
局は大鉄技術サービスの方々の知恵と力を借りることに



一人寂しく作業台の上で待つヘッドマーク
(その下の枠は、今までの物をそのまま利用)

結局、工場の中にあったL型のアングルを切って、押さえるための金具を作ること



今まで使っていたヘッドマークの外側にドリルでネジ穴を開ける



先ほどのL型のアングルを使って、外側から押さえつける。このあと、前面を青のスプレー(模型用)で塗った



今回は、雑誌『メンズクラブ』の取材が入る。が.....。



訪れた編集者とカメラマンが女性だったためか、車内でのミーティングも異様に明るい



そして、その日の夜は名物
ビール列車へとなだれ込む
(まだ、写真掲載可能な頃)

一夜明けて、場所は家山駅構内.....



オハニの海側の荷物室ドアの横では、塗装が浮き上がり悲惨な状態に

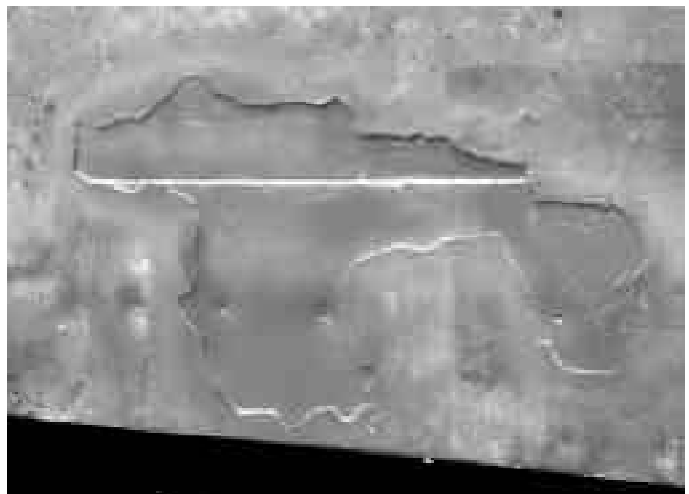


そこで急遽(単なる思いつき)補修を行うことに。まずは、浮いていた塗膜をはがし、サンドペーパーで錆を落とす





駅前に偶然有ったペンキ屋さんで錆止めのスプレーを購入し、応急の処置をする



なにはともあれ無事完成



この後に控えた河原でのバーベキュー大会までの間に、荷物室のおかたづけ



スハフ43のカーテン交換と同時に行われるオハニの白熱灯化に備え、灯具の準備をする



この後ろ姿。レースクイーンやキャンギャルだったらいいんだけど.....



砂地なので支えの杭を打ち込めず、結局石を重石にするが、風が強いため何度かロープがはずれるはめに



こちらでは一所懸命に火をおこす

ということで、大井川の河原での楽しい一日でした
(この後一週間、疲れがとれなかった)



【お詫び】2ページの記事中、事実と違う解説がありました。本気にしないで下さい。

カルカッタの乗り物短見

その1

後藤正治

初めに 自由化が進み、社会もすこしづつ変化しているインドを、以前 88年・90年 と、97年を比べてみたいと思います。

空路 90年のダムダム(カルカッタ)空港着はジャンボから降りたのに、ボーディングブリッジも無く雨の中を走っていったのです。今回は新しいターミナルも出来、見劣りしなくなった様です。

80年代の主な定期国内線は一社でしたが、90年代初めから増え始め、現在では10社位有る様です。したがってチケットの入手も以前より楽になりました。

リムジンバス 初めてのインド行きの時、ダムダム空港を出たタンのカルチャーショックは強烈でした。市内行きのリムジンバスに乗ったのです。客は2~3人でした。車内へ入ってビックリ、窓ガラスが殆ど入っていないのです。(年中暑いので必要無いのかも知れませんが)よく見ると、窓のアルミサッシュその物が壊れて無い所もあるのです。又大きな振動があると天井が左右に動き、車体

が歪むと云う大変なリムジン車でした。

此の路線は、まだ運行していますが、ダーズリンと麓など、他の以前利用した2~3の空港では廃止されていました。

市電 市内へ入って市電の線路が見えてまもなく、対向の電車を見て又ビックリ。そのお顔のイタマシイ事、ナント表したらよいのでしょうか.....。日本で同じ様な車を見る事は出来ないでしょう。

後で短区間試乗してみたのですが、連接車が多く前車が一等、後車が二等になっています。両端がループなのか片運車ばかりで、内部は外部に比べて思ったよりキレイでした。

まだ営業区間は、大分有るようです。でも地下鉄の延長、自動車



ダムダム付近で、イタマシイ市電。右の車はミゼット(オートリクシャー)

の増加などで廃止の区間も増えているようです。

国電 正面3枚窓の旧国鉄クハ86金太郎掛けをワイドにした感じの4ドア車の編成で、クリームとブラウン(旧関西急電と同じ感じ)です。車内には強力な扇風器が20台も付いています。でもドア近くは涼む客でいつも混んでいます、だから走行中ドアは開きっぱなし、閉まっているドアを見た事がありません。運行本数はボンベイ(最近ムンバイと変わる)と比べ少ない様です。

ドア監視の為に添乗員を乗せなければいけない日本とは大違いです。

列車 インドの国鉄は6万kmも有り全国的には、SL DL、電化延長など近代化、ゲージ変更1,000mm 1,676mm、直線化など進めている様ですが、カルカッタ近郊では特に気付いた事は有りませんでした。

初回の頃 4大都市しかなかったコンピュータ発券が地方にも広まり、大分便利に成った様です。

(つづく)



カルカッタの二大駅の一つシアルダー駅で。ドア近くにブラ下がりが多いが、車内が混んで入れない訳ではない?



S49.3 留萌～塩狩(C55)



S49.3 和寒～塩狩(C57)



S49.3 芦川

宗谷のC55・遙かなるドラフトの響き

長谷川健夫

昭和49年3月、北海道は3月とはいえ、やはり雪深い季節ではあったが、蒸気機関車も青函連絡船も元気で活躍中であった。その健在な勇姿を撮影すべく渡道したのであるが、ただ、C62はすでになく、目当ては宗谷本線のC55、D51などであった。

ある朝、同宿のSL仲間から誘われて、旭川の機関区へ、C55のデフレクターの落書きを消しに行ったのも、思い出に残っている。

その時は、春闘の真っ只中であり、団結などとかかれた列車を見かけたものである。そして、当日の321列車を雪深い塩狩峠で待ち受けたのであるが、その時のC55号機は、新雪の雪原と樹林の間を、猛然と煙をはいて登ってきた。スポーク動輪は氷塊にまみれてはいたが、朝日に映えて素晴らしかった。ただ、上り324列車はC57で運用されており、残念だった。

ところが明晩、323列車で利尻を撮るべく土別駅に着いたのであるが、私は当時、なんとかジカセまで持参し、ドラフト音まで録音していた。そこでマイクをキャブに乗せてほしい、と機関士に頼んだのであるが、もし邪魔にならなければ、お前も添乗してよいという嬉しいお言葉。有り難く名寄駅まで乗せて頂いた。上り線をD51が通過する、炊き口戸とシャベルの音はするといふ豪気な添乗の旅となった。

当時は、このように人々が親切だけでなく、世の中がいたって鷹揚な事が幸いした。心残りは、僚友のC5549号機が、あの稚内の利礼ドームからも去り、解体されたことである。

鉄道サークル関西支部7月例会報告

今津 勤

日時 7月6日 13時～17時

場所 交通科学館2階小会議室

出席者 岡田清利(サークル外会員) 寺川 寛 小村幹浩 阿曾利夫
網谷りょういち 氏野正巳 今津 勤 福永昌記(以上サークル会員)
以上8名

議題 本部からの連絡事項なし。

8月の例年大井川行き行事は今年実施せず。

網谷会員から10月10日の「トラストハイグ「信楽高原鉄道沿線」の再確認説明。
各会員からの情勢等雑談的に発言。

今後の行事等について希望、意見等出たが結論はなし。

今津保存のスライドを今後適宜上映する。(今迄スライド、ビデオ等の発表
が殆どないので今後取り入れたい。)

スライド ニュージージーランドの鉄道事情と特に保存鉄道の現状。

乗り歩き。

博物館の保存活動と現状。

などを150枚のスライドで報告。説明は今津 勤。

「黄 葆生さんを偲ぶ会」のご案内

当ナショナルトラスト鉄道サークル関西支部で長年世話役をして頂いた、黄葆生さんが7月8日亡くされました。享年47歳でした。

サークルの中心として当初から献身的な世話をしてくださった、故人の思い出と今後のあり方を話し合う会を、下記のように開催しますので、是非多くの方々の出席を心からお待ち申し上げます。

なお出席の意志をハガキにて8月中に今津までご連絡をお願い致します。

記

日時 9月14日 12:00から

場所 奈良・JR西日本・奈良大乗苑

(奈良ホテル南、大乗院庭園内、ヘリテージセンターではありません)

会費 約5000円(アルコールも少々)

神谷さんのスライドをはさんで、思い出を語りあいたいと思います。

連絡先 630-01 生駒市鹿ノ台北2-6-5 今津 勤

トラストハイク しがらき 信楽高原鐵道沿線を訪ねて

10月10日 貴生川駅10時50分発の信楽高原鐵道(SKR)先頭車両に集合

参加の申し込みは不要です。

(草津線 貴生川駅0番線)

大阪	8:39	9:00	9:09	9:30
京都	9:20	9:30	9:50	10:00
		快速	新快速	快速
草津	9:44	9:51	10:13	10:19
草津	9:46			10:22
貴生川	10:10			10:46
貴生川				10:50
紫香樂宮跡駅				11:05

信楽高原鐵道事故慰靈碑に参拝

不動寺参拝(事故直後の慰靈堂が移設置されている、仏像二軀)

「東海道自然歩道」を歩く

紫香樂宮跡(天平時代聖武天皇が造った、礎石三百余个が残存。ここで昼食)

雲井駅13:07(又は紫香樂宮跡駅13:05) 信楽駅13:14

「セーフティしがらき」見学(信楽駅構内・信楽高原鐵道事故の資料館)

宗陶苑「登り窯」見学(日本最大の登り窯・焼いている場合でも見学できます)

信楽伝統産業会館 SKR 信楽駅で16時~17時ごろ解散

ご注意

信楽駅 16:21 17:37

乗換え時間の短い列車がありますから気を付けて下さい。

貴生川 16:43 17:59

かならず「お弁当」を持参して下さい。

貴生川 16:56 18:05

雨天でも行ないます。

直通

京都 17:44 18:59

申し込みは不要です、直接お越し下さい。

問い合わせ先 網谷りょういち TEL FAX 075-621-6371

鉄道サークル関西の次回例会

日時 11月9日 13時より

場所 梅小路蒸気機関車館・2階会議室

梅小路蒸気機関車館に旧二条駅駅舎(明治37年建築)が移築されリニューアルオープンしました。

その旧二条駅駅舎の2階会議室で行います。

梅小路蒸気機関車館前には、市内電車(チンチン電車)が復元され、土曜・休日には乗客を乗せて運転しています。

特別付録 大井川鉄道360度パノラマ写真



遊び方: 拡大コピーをして画を内側にし、輪を作り、その中に頭を入れると、アラ不思議、現地に居る気分になるわけないか。

上から 新金谷機関区
千頭駅ホーム
千頭駅前広場

いんぷおめいしよん

原稿募集

普段、仕事や学校が忙しかったり、現地に遠かったりということで、トラストレインの活動に参加できないとお悩みのあなた。現地に行かなくても参加する方法があります。

そう、この会報に参加すれば良いのです。

方法は簡単。紙と筆記用具があれば、あとはあなたが原稿を書くだけ!

1ページを埋めるような長いものでなく、短いほんの下書き程度の文章でも大丈夫です。

内容はトラストレインや鉄道に関する物で無くても、一向にかまいません。あなたの地方の

定例会のお知らせ

日時: 8月19日 19:00~20:45

場所: 財団事務所

上記以外の時間帯はフリートーク

夕食は済ませてくるか、21:00以降どこかへ

飲みに行った時に.....

話題 あなたが知っていて、大したことがないと思っている事柄でも、他の地方の人にしてみれば、知りたい事柄かも知れません)や趣味の話など、色々と考えられますよね。

それと、写真もあった方がうれしいです。できれば、1枚ごとの短い解説(キャプション)があると助かります。

只一つ申し訳ないことは、人

手と予算その他の関係で、原稿や写真は原則として返却していません。(もちろん重要な写真やポジ等の原稿はそれなりの扱いをしていますが)

また、会報へのご意見・ご希望も是非お寄せ下さい。あなたの一言が会報製作の励みともなるのです。

送り先は、トラストの鉄道サークル会報担当まで。

日本ナショナルトラスト鉄道サークル 会報 とらすとれいん 第87号 1997年8月号

〒100 千代田区丸の内3丁目4番1号 新国際ビルディング810区 Phone 03-3214-2631 Fax 03-3214-2633